



1 提案課題1:基本方針

ホッケーの 競技力強化・普及振興	都民が様々な スポーツを楽しめる場	公園の 総合的な魅力向上
年間利用者数20万人、大会総数23大会、強化合宿15回の実現	ラクロス、サッカー、アメリカンフットボール等様々な競技利用の受入れ	公園との一体的な管理運営による効率化、相互に魅力を高めるサービス提供

■関係団体との連携

- 当施設の運営にあたっては、ホッケー、ラクロス、サッカー、アメリカンフットボール、又パラリンピック競技種目等様々な競技団体との連携を密に図り事業に取り組みます。

■利用者数

- ホッケー大会利用者数目標75,000人に対して、目標値を大きく上回る最大218,975人の利用を見込んでいます。実際の運営にあたっては、日程調整や近隣施設での分散開催による計画以下の人数が見込まれますが、全体で20万人の利用数達成を目標に取り組みます。

■大会・合宿

- 国際・国内大会、地区・都大会、強化合宿の各項目について、目標値を上回る回数での実施を予定しています。
- ホッケー以外の競技利用についても、従来の利用状況を踏まえ、柔軟に日程調整をはかることで極力多くの利用を受入れ、平等に利用機会を提供するよう努めます。

区分	目標	計画
国際・国内大会	18大会	20大会
地区・都大会	5大会	11大会
強化合宿	15回	22回



2 提案課題2:施設の提供、運営に関する業務

■休館日・開場時間

- 休館日については、条例に定められている1月1日及び12月31日の2日間に加えて、法令に定められている高圧受電設備年次点検日(12月第一火曜日)及び施設整備日(毎月第三月曜日)とします。
- 開場時間について、早朝利用のニーズを踏まえ条例に定められている9:00~21:00の利用枠に加えて、9:00~12:00の午前枠を利用する利用者に対して、7:00~9:00の早朝利用を受け付け、開場時間を拡充します。

■利用料金



3 提案課題3:スポーツの普及振興

東京都のスポーツ振興の基本計画である「東京都スポーツ推進総合計画」にうたわれている【スポーツの力で東京の未来を創る】という基本理念のもと、都民のスポーツ実施率70%達成に貢献することを目的にスポーツ普及事業及び自主事業等に取り組みます。

■スポーツ普及事業

- 指定管理者のみで企画・実施する事業に加え、各競技団体と連携しスポーツ普及事業の共催等を企画・実施します。連携によって実施する事業の場合、事前に各団体のニーズを把握・十分にふまえた内容とします。
- ホッケーに関連する事業としては、小中学生・初心者を対象とするジュニアホッケー教室、日本代表チームのコーチ又は選手等による直接指導を検討するホッケークリニック、審判・競技役員講習会等を計画しています。

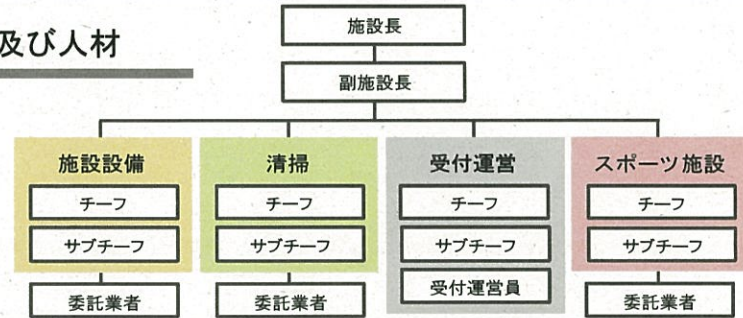
■自主事業ほか

- 親子体操教室や健康いきいき体操教室など、多目的室(トレーニング室)を活用した事業を計画します。
- 飲食サービスについては、ケータリングカーによるサービス提供を行います。また公園との連携事業として大井スポーツセンター(公園管理事務所棟)での弁当の受注等を行います。
- 喫茶店スペースは利用者の休憩場所として開放するほか、大会時には競技用品の物販スペースとして活用します。



4 提案課題4:組織及び人材

- 責任者として施設長、また副責任者として副施設長を配置します。
- 組織体制及び勤務体制の構築にあたっては、公園との一体管理のスケールメリットを最大限に活かし、効率的な体制とします。



6 提案課題6:収支計画

収支計画の作成にあたっては、公園との一体管理のスケールメリットを活かし、職員体制・勤務体制の効率化や日常業務(清掃等)の一体的な実施によりコストの縮減に努めています。

- 各年度の都からの委託費は以下の通りです。(東京都参考価格:税込 82,221千円)

平成31年度	平成32年度
税込 82,079千円	税込 82,079千円
平成33年度	平成34年度
税込 82,079千円	税込 82,079千円